古文化同好会
交野郷土史かるたで巡る歴史の道
私部地区編

平成２２年７月１０日

コース

京阪交野市駅➡天の川➡私部城➡光通寺➡（想善寺）

➡無量光寺➡代官屋敷➡住吉神社（解散）

伝説豊かな
天の川

天の川と逢合橋

大昔饒速日命の子孫といわれる物部氏がこの地を拓き、天野川がもたらした肥沃な地で米作りを始めたが、甘くておいしい米が出来るので、この田を「甘田」とか「甘野」といい、川も「甘野川」と呼んだといわれる。ところが平安時代になると、京の都から貴族達がやってきて「甘野川」を天上の銀河「天の川」に見立てて「天の川」になったといわれております。そしてこの川で織姫と牽牛が７月７日一年に一度の逢瀬を楽しんだ所とされこの橋を逢合橋となずけております。

私部城
今は名のみ
城の址

私部城跡この城は府下では珍しい平野部に築かれた城です

私部城は室町時代に豪族畠山氏の家臣・安見氏が築いたといわれています。城は本郭・二郭・三郭からなる主郭と周囲の副郭で構成されています。写真にある切通しといわれる部分はかなりはっきりと残っております。
城の南側には土塁や堀跡が認められます。
又、三郭といわれる東側で２２００年も前に稲作が行われていたとみられる、石包丁が出土しております。

別峯ひらく

光通寺

光通寺　宗派は臨済宗　本尊　聖観音菩薩立像　ヒノキ材　鎌倉時代の作

このお寺は室町時代のはじめに創建され､京都東福寺の末寺となっている。開祖は「交野郷土史かるた」にあるように別峰和尚で後村上天皇に寵愛されたかたです。室町時代の終わりから戦国時代には朝廷にお茶を献ずるなど極めて力をもった寺でありました。またこの寺の石垣の中には「石垣地蔵」と呼ばれる２体の石仏がみられます。石仏はかなり風化していて、わかりづらいのですが、光線の具合で浮き上がることがあります。また寛文４年（１６６４）の年号が入った棟札が残っており､それによりますと信長の時代に家臣の安見右近太夫は仁義や道理もわきまえず、仏法を無視し、ついにこの光通寺を倒しました。仏閣はとうとう無くなり、桃や李の美しい人里は一変して荒原となってしまいました。然し後この安見の首領は敵陣で首を切りおとされ、のちの人達はお互いに戒めあったといいます。

想善寺　宗派は西山浄土宗　本尊　阿弥陀如来坐像

天正年間（１５７３～１５９１）惣善上人が一宇の堂を建て念仏生活をしたのが始りといわれ、後に想善寺と称した。その後寛政２年（１７９０)遍空上人時代当地の領主畠山義紀公が大檀越となり寛政５年秋に現在の伽藍ができました。本堂の傍に地蔵堂があり堂内には中央に一木彫りの延命地蔵を安置しその左右には佛高１２ｃｍの千体地蔵尊を祀っている。新しく生まれた子供の幸せと恵まれなかった水子の霊の安らぎを祈って建てられたのであろう。当地方では子授け、安産の帯受け、及び子供護りの地蔵として、参詣する人がおおい。

軍書読み

人の集まる

無量光寺

無量光寺　浄土真宗西本願寺派・本尊は阿弥陀如来立像で室町時代の木造で像高９０ｃｍ余り。かつては、住吉神社の西の方に天台宗の尼寺として建立されました。しかし嘉吉の乱(嘉吉元年「１４４１年」播磨の領主赤松満祐が六代足利将軍義教を殺すという事件)の時播磨に逃げ帰る赤松軍に焼かれたといわれる。(一説ではこの寺に赤松軍が逃げ込んだので足利軍に焼かれたともいわれる)１４８６年頃今の地に再建されたといわれる。この頃本願寺中興の祖といわれる蓮如がこの地に布教に来られ､当時の僧了道は教えを受けて浄土真宗に転じた。戦国時代、信長の石山本願寺攻めの時（１５７０～１５８０)、住職の三世覚心は本願寺に味方し、信長方にいた私部城の安見氏と戦ったため、寺は焼かれたとつたえられていますし、そのため２０年程寺に帰れなかったともいわれます。享保１５年（１７３０）ようやく再建できたという。また幕末の戊辰戦争の時、敗れた幕府軍がここで救護をしてもらったとも云われております。

門長屋

大きな構えは

代官屋敷

代官屋敷(北田家住宅)

江戸時代、私部の領主畠山氏の代官をしていたことから地元では「代官屋敷」として親しまれてきました。屋敷の広さは約４千平方メートル（約１２００坪）あり、門長屋は５５，８ｍもあり日本最長です。又高さも２，６ｍもあり馬に乗ったまま出入りが出来るといわれたほどです。乾蔵から享保７年（１７２２）の棟札が見つかり、母屋の建築はそれより少し前頃と思われます。昭和５４年、国の重要文化財に指定され、毎年春と秋に公開されています。この北田家は南北時代の後醍醐天皇の重臣、北畠親房の子顕家の子孫と言われ、南朝没落後、その姓をはばかり、北畠の白を除き北田と称したという。

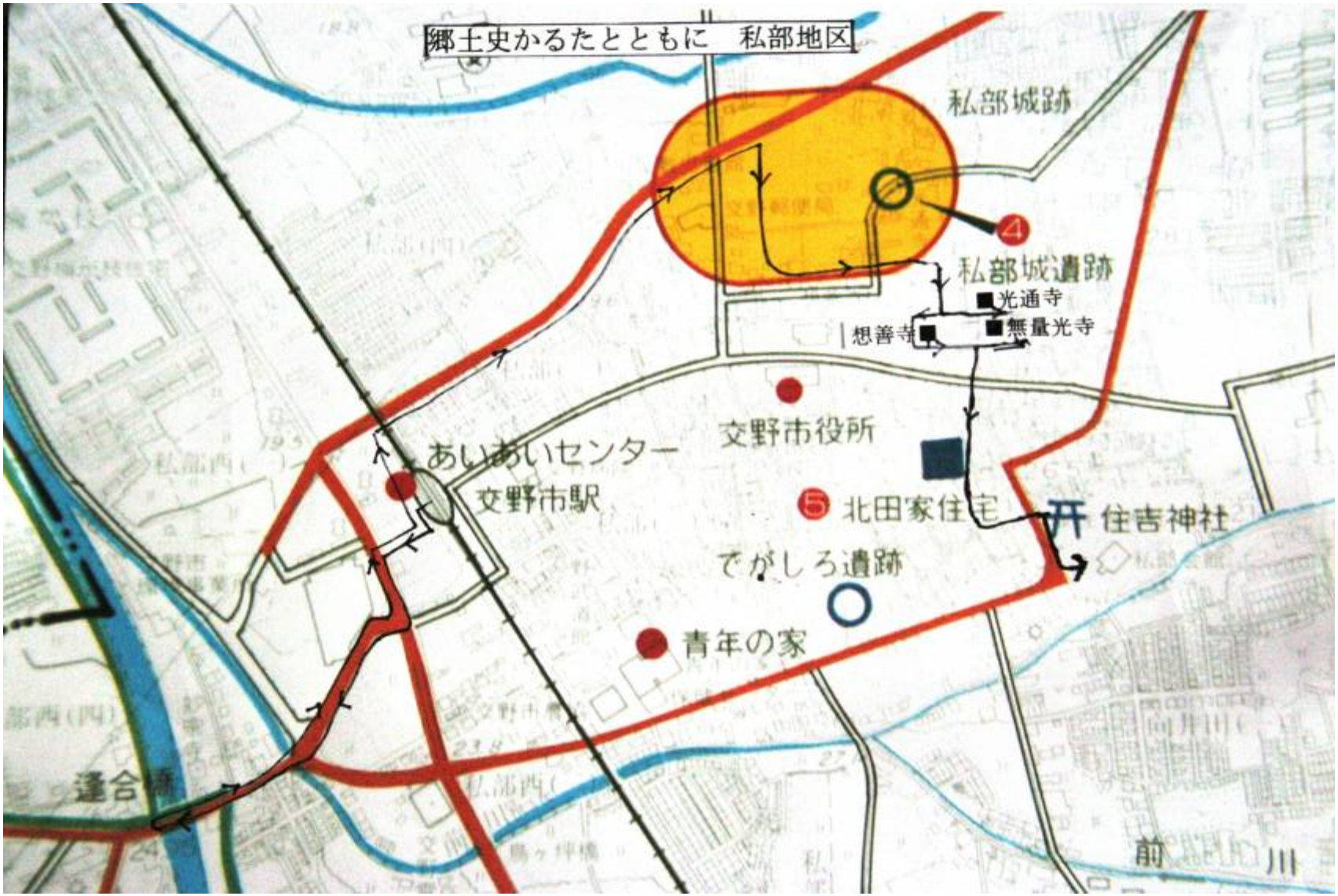
つくね飯

食らって運ぶ

大鳥居

住吉神社

祭神は住吉四神で元禄５年（１６９２）の私部村寺社改帳によると、いつ勧請したか分からないと書いてある。社殿は住吉神社であるから住吉作りと思われるが、春日造りとなっている。これは奈良春日大社の社殿が２０年毎に建て替えとなるので、江戸時代にその宮殿を譲り受けたからである。また昔境内に現光寺という宮寺があって、空禅（きゅうせん）というお坊さんが住んでいたという。会館の裏に空禅藪と呼ばれる所があり歴代の住職の墓がある。また神社の入り口にある大鳥居は万延元年（１８６０）に私部口山の鳥居谷から原材を運んできて造ったものである。


郷土史かるたとともに　私部地区
私部城跡
4
私部城遺跡
光通寺
想善寺
無量光寺
交野市役所
あいあいセンター
交野市駅
5
北田家住宅
住吉神社
でがしろ遺跡
青年の家
逢合橋
前
川